

福島県教育センター

第1節 概要

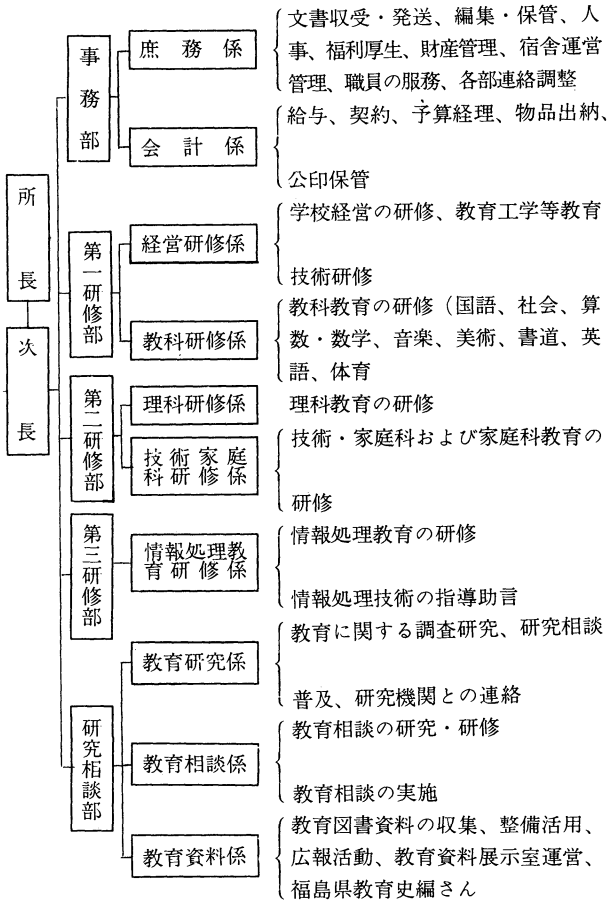
当センターは、昭和46年4月1日に、従来の福島県教育研究所および福島県理科教育センターを統合して福島県教育センターとして発足してから、本年度は第3年目である。

昭和48年度は、前年度の実績をもとに、さらに当センターの設置目的である教育の振興および充実を図るため

1. 教育関係職員の研修事業
2. 教育に関する専門的、技術的事項の調査研究事業
3. 情報処理教育に関する事業
4. 教育相談に関する事業
5. 教育に関する図書および資料の作成、収集および活用に関する事業
6. 教育史の編さん事業

などいっそう推進してきた。事業実績については第2節以下のとおりであるが、これらの事業を実現するための組織は、次のとおりである。

1. 組織



2. 施設・設備の概要

(1) 施設の整備

施設の整備については、下記概要のとおり昭和46年度まででしゅん工した。

建物名・構造規模	延面積	竣工年月日
第1棟（本館） 鉄筋造り、地下1階 地上5階建	4,365 m ²	昭和46年3月31日竣工
第2棟（理科棟） 鉄筋造り、4階建	1,590 m ²	昭和40年7月30日竣工
第3棟（情報処理棟） 鉄筋造り、2階建	1,073 m ²	昭和46年3月29日竣工
宿泊棟 鉄筋造り、4階建	2,112 m ²	昭和46年6月20日竣工 ※昭和47年9月30日増築 の渡り廊下 164 m ² を含む
車庫、焼成室その他	65 m ²	

昭和48年度の整備状況は、次のとおりである。

- ① 建物は一応の整備をみたが、外部環境が未整備であったので、4,073千円の経費により庭園樹の新植 138本、門標、門扉の新設、西側境界の擁壁およびフェンス取付工事 128 m²が完了し、教育センターにふさわしい環境が整備された。
- ② また、内部的には、火災報知器、放送設備の拡充整備 370千円、換気設備工事 545千円等を行い、災害の防止と早期発見の整備を行った。

(2) 設備、機器等の整備

研修用設備、機器をはじめ、実験、研究、教育相談および図書資料関係の設備、機器については、昭和46年度教育センター発足以来着々と整備されているところであるが、急激に変動する社会情勢と、高度に発展する科学技術の進歩に対応する、現代教育に即応するための教育を推進するためには、さらに設備、機器等を整備充実していく必要がある。

第2節 教育研究に関する事業

1. 学校経営改善に関する研究

(1) 研究の概念

学校教育の直接的な研究の対象として、教育内容、教育方法・技術とならんで教育経営があげられよう。教育経営を広義に解釈した場合は、教育の本質をめざした、「協力活動の努力の体系を維持する作用である」ということになろうが、狭義には学校経営と同義に扱い、「組織活動の体系を維持する作用である」とみることができよう。こうした考え方に立って学校経営を取り上げることにした。

(2) 研究のねらい

研究を進めるに当たっては、学校経営と学校組織を区別し、学校組織を「現実的な学校の教育活動に関係する諸要団の機能的な構造である」とし、学校経営を組織活動の役割を内部調整をしながら、体系的に継続作用を図ることとする。こうした立場をとり、その相互関係を明らかにしようとする。このことは言葉を換えれば学校組織の機能化をはかり、その具現化としての学校経営をとらえることにする。

学校組織を教授・学習組織と事務組織、運営組織とし、各系列の機能化とその統制のあり方を追求し、今後の学校経営のビジョンを明らかにする。